



試験機関 広島大学大学院 医系科学研究科 ウイルス学研究室
供試ウイルス 新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス(H1N1型)・コクサッキーウイルス・ネコカリシウイルス・ネズミノロウイルス

試料 柿タンニン入りエタノール製剤 (エタノール50.18%、柿タンニン0.15%)

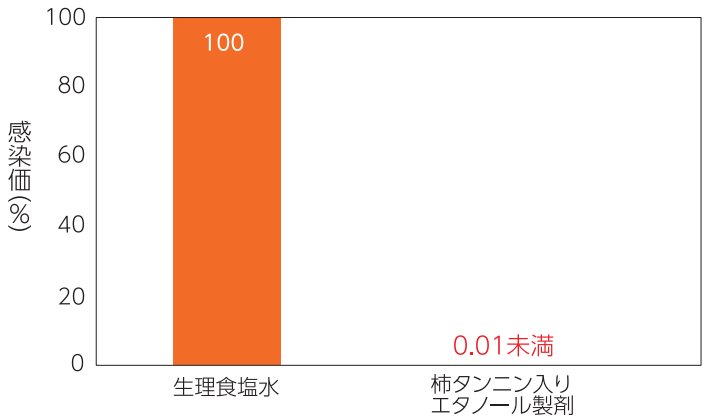
試験方法 感染価測定法(TCID50法)

- (1) ウイルス液と試料を1:9で混合し2分間反応させた。
- (2) 混合液を希釈し試料の効果を停止させた。
- (3) 希釈液を細胞にかけ培養した。
- (4) 細胞の変性状態から感染価を測定した。

結果 柿タンニン入りエタノール製剤は、いずれの供試ウイルスに対しても99.9%以上の不活化効果を有することが確認されました。

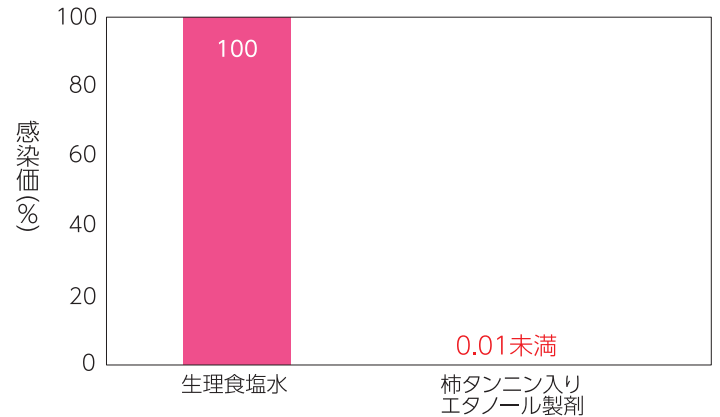
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2分離株) エンベロープ型

試料	不活化率
生理食塩水	0%とする
柿タンニン入りエタノール製剤	99.99%以上



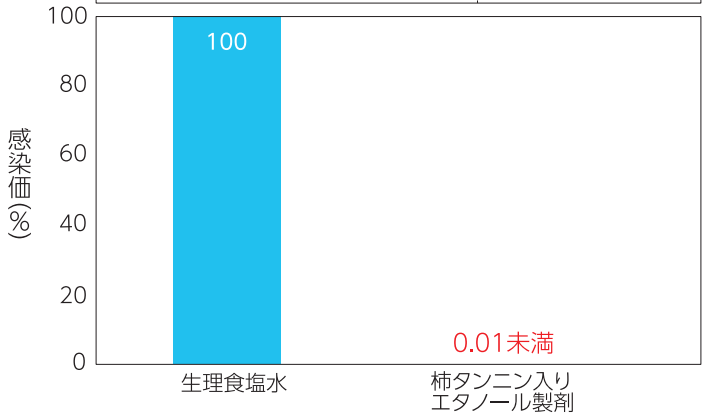
インフルエンザウイルス(H1N1型) エンベロープ型

試料	不活化率
生理食塩水	0%とする
柿タンニン入りエタノール製剤	99.99%以上



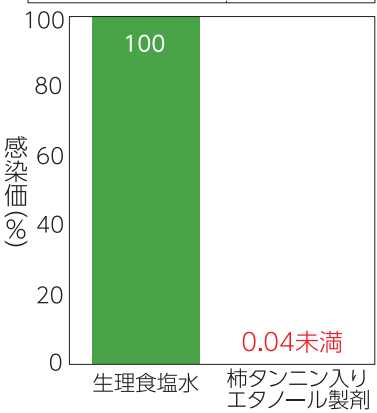
コクサッキーウイルス 非エンベロープ型

試料	不活化率
生理食塩水	0%とする
柿タンニン入りエタノール製剤	99.99%以上



ネコカリシウイルス 非エンベロープ型

試料	不活化率
生理食塩水	0%とする
柿タンニン入りエタノール製剤	99.96%以上



ネズミノロウイルス

試料	不活化率
生理食塩水	0%とする
柿タンニン入りエタノール製剤	99.99%以上

